

啓発活動への参加について

1 「第10回バスまつり」への参加

(1) 活動の趣旨

バスまつりに、松江市公共交通利用促進市民会議として参加した。

(2) 活動の概要

ア 日 時：令和元年9月22日(日) 10時30分～15時
 イ 場 所：くにびきメッセ (来場者3,500人)
 ウ 内 容：

イベント	内 容
バスのマナー啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの車内事故防止とバス乗車マナー向上を図るため、独立行政法人 自動車事故対策機構 (NASVA) と市民会議が連携し、ステージ上で講演やバス紙芝居の上演、クイズ等を実施 ・市民会議ブースでは、来場者へのバスのマナーアンケートを実施
新バス運行情報提供システムの紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年に導入する同システムについて、ステージにて紹介
公共交通塗り絵コーナーの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス、鉄道車両、飛行機の塗り絵コーナーの設置
パネル展示	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の取り組みについて紹介 市民会議の活動紹介 (市内路線バスの現状、とってお得バス利用事業、SNS等) ノーマイクーウィークの事前PR

(3) 活動状況



(4) まとめ

- 来場者約3,500人に対し、市民会議の活動を周知することができた。
- 市民会議ブースに設置したバスぬり絵コーナーには、乗り物好きな親子連れ約150人が来場した。一定時間保護者が滞留するため、アンケートを依頼するのに効果的だった。
- 今回、松江高専の学生にマナー啓発のアンケートを作成いただき、市民会議ブースではシールを張り付ける形式のアンケートを実施し、ステージでは、クイズ形式で、その中間結果を発表した。アンケートは、親しみやすいイラストが好評で、多くの方にご参加いただくことができた。
- バスの車内事故防止とバス乗車マナー向上を図るため、独立行政法人 自動車事故対策機構 (NASVA) と市民会議が連携し、講演やバス紙芝居の上演等、様々な形で車内事故防止とバスのマナー啓発の機運を高める機会とすることができた。
- ステージでは、新バス運行情報提供システムについても紹介し、広くPRすることができた。
- バスの乗車体験という新たな試みを行ったこともあり、当日は大変盛況であった。

2 大規模集客施設でのノーマイカーウィーク事前 PR

(1) 活動の趣旨

「松江市一斉ノーマイカーウィーク」に先立ち、普段マイカーを利用している市民に取り組みに周知するとともに参加を促し、今後の公共交通利用者の増加を図る。

(2) 活動の概要

ア 事業主体 (順不同)	松江市公共交通利用促進市民会議、松江市、松江市教育委員会、島根県、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所、国土交通省中国運輸局島根運輸支局、(一社)島根県旅客自動車協会、松江商工会議所、連合島根
イ 日時	令和元年10月13日(日) 13時～14時
ウ 場所	イオン松江ショッピングセンター
エ 内容	チラシ(連合島根提供ポケットティッシュ付き)の配布 配布数 800枚 *主催・共催団体の担当職員により対応

(3) 活動状況



(4) まとめ

○マイカー利用者が集う大規模集客施設でノーマイカーウィークの事前周知を行うことができた。

3 「第26回松江市環境フェスティバル」への参加

(1) 活動の趣旨

市民の環境意識啓発の一環となることから、松江市公共交通利用促進市民会議として参加した。

(2) 活動の概要

日時	令和元年11月4日(月・祝) 10時～15時
場所	くにびきメッセ (来場者 8,000人)
内容	バスマナーアンケートの実施、ブースでのバス紙芝居上演、市民会議パネル展示、交通局ハイブリットバス展示

(3) 活動状況



(4) まとめ

- パネル展示を行い、市民会議の活動についてPRできた。
- ハイブリットバスを展示し、受付に時刻表などを置き、バス利用促進を図った。
- バスまつり同様、マナー啓発のアンケートを実施したが、ハイブリットバスやバス紙芝居の動画上演などが呼び水となり、多くの方にご参加いただくことができた。